



きた

2022
3 月号

今も残る 北区のむか〜し むかし

北区に残された伝承、伝説を「今も残る北区のむか〜しむかし」として紹介してきましたが、今月号が最終回となります。興味をお持ちになったら、由来する場所を調べ、訪ねてみると新たな出会いがあるかもしれません。

宮原小学校のセンダン(宮原町)

大宮市教育委員会編「大宮をあるく I〜東部編〜」(昭和63年)
54・55ページ、「宮原小学校のセンダン」から引用

宮原四丁目、宮原小学校地内、中山道に面したところに、市指定天然記念物のセンダンの木が高く聳そびえています。センダンは暖地性の落葉高木で、わが国では、本州南部から四国・九州・沖縄方面に分布している植物で、この辺りでは珍しい植物です。明治の初年、宮原小学校(当時の加茂学校)開設当時の先生の一人が、郷里の高知県から移植したものとわれ、樹齢約110年*、樹高は15mほどあります。(中略)「センダンは双葉より芳し」とわれ、香りの良い木で有名です。宮原小学校の校歌にも「青空高くせんだんは立派になれと見ています」と歌い込まれ、宮原小学校のシンボルともなっています。文明開化の時代から百余年の間、ここを通過した幾千万人の人々の哀歓を眺め、幾世代に及ぶ宮原小学校児童の様々な姿を知ると共に、これからも健やかな成長を見守ってくれるでしょう。

*現在の推定樹齢は、およそ140年です。



宮原小学校の佐藤 健 校長の話では、センダンは芽生えた頃から良い香りがするため、子どもたちの才能が早くから開花するようという願いが掛けられているのではないかとのこと。校歌の1番で最初に歌われていたり、創立100周年記念の文集に寄せた当時の児童の作文にも記されていたりするなど、昔から子どもたちに親しまれてきました。

長年にわたって子どもたちを見守ってきたセンダン。これからも小学校はもとより地域のシンボルとして、歴史を刻み続けていくことでしょう。

問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 FAX669・6161

「市報さいたま」北区版3月号に掲載した事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。各事業の問合せ先へお尋ねください。

北区役所 〒331-8586 北区宮原町1-852-1 ☎653・1111(代表) FAX669・6160 編集:北区コミュニティ課
*この電話は、さいたまコールセンターにつながります。

●人口/149,411人(男/74,165人 女/75,246人) ●世帯数/70,495世帯 ●面積/16.86km²(令和4年2月1日現在)